

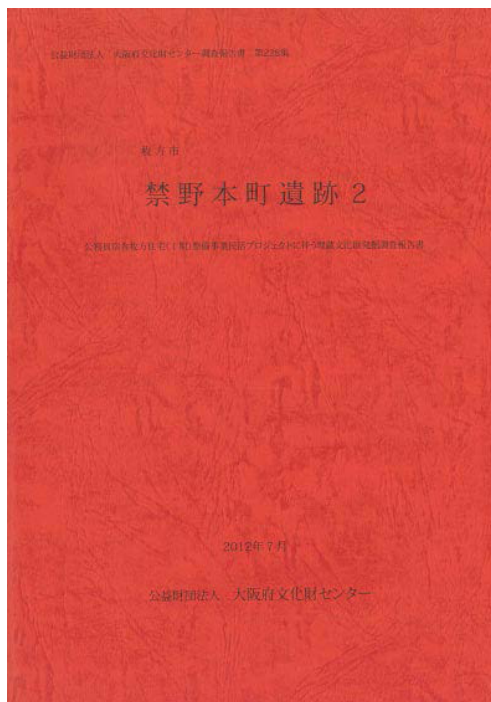


刊行図書のご案内

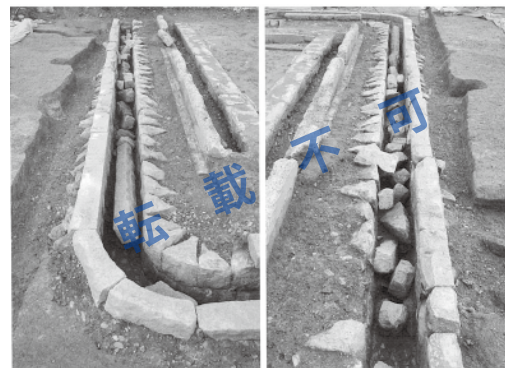
公益財団法人 大阪府文化財センター調査報告書 第228集

禁野本町遺跡 2

公務員宿舍枚方住宅（I期）整備事業民活プロジェクトに伴う
埋蔵文化財発掘調査報告書



8区第1面（近代）



石組溝検出状況

価 格：1,440円（税込）

送 料：宅急便 ※地域別料金

刊行日：2012年7月

判 型：A4

頁 数：本文 332 頁、巻頭カラー図版 2 頁、写真図版 108 頁、付図 2 枚

重 量：1,720g

枚方市の淀川を見下ろす台地上に立地する禁野本町遺跡の調査報告書です。

注目すべき遺構は、奈良時代後半から平安時代初頭を中心とする集落跡と、明治時代後葉から太平洋戦争終結までの陸軍の火薬庫です。

古代の集落跡からは、重複関係の著しい掘立柱建物柱建物群、溝、井戸、土坑、ピットなどの遺構と、須恵器や土師器といった一般的な土器に加えて、緑釉陶器や灰釉陶器、長岡京内の遺跡出土と同範関係にある軒瓦なども出土しました。

いわゆる禁野火薬庫については、火工場、倉庫、石組溝、土塁、軽便鉄道、厠、貯水池などの遺構を検出しました。これらは、「大阪陸軍兵器支廠禁野弾薬庫図」や「大阪陸軍兵器支廠禁野倉庫要図」などの記録と符号するものが多くあり、実年代の特定や構造物配置の変遷を検証することが可能な資料です。砲弾、薬莖、薬包などの軍事関連遺物や、瓦、煉瓦、枕木、レール、犬釘といった建築・鉄道関連遺物も多数出土しました。